

[成果情報名] ミニトマトでの防虫ネットと天敵導入によるコナジラミ類密度抑制技術

[要約] ミニトマト促成栽培において、施設開口部に防虫ネットを展張し、春季にコナジラミ類の天敵オンシツツヤコバチを導入すると、春季のコナジラミの発生を抑制できる。

[キーワード] ミニトマト、コナジラミ類、防虫ネット、天敵、オンシツツヤコバチ

[担当機関名] 農業試験場 環境部

[連絡先] 0736-64-2300

[部会名] 野菜・花き（野菜作物）

[分類] 普及

#### [背景・ねらい]

消費者から”食の安心・安全”への要望が強い中、化学農薬をできるだけ使わない害虫防除技術の普及が求められている。そこで、ミニトマト栽培において1mm目防虫ネットと市販天敵のオンシツツヤコバチを導入し、コナジラミ類密度抑制効果を検討する。

#### [成果の内容・特徴]

1. 1mm目防虫ネットはオンシツツコナジラミ成虫の侵入を抑制する（表1）。
2. コナジラミ類が低密度時にオンシツツヤコバチを7日間隔で3回放飼すると、放飼開始1か月後に寄生率が高くなる（図1）。
3. 1mm目防虫ネットがコナジラミ類成虫の外部からの侵入を防止し、オンシツツヤコバチはコナジラミ類のハウス内での増加を抑えるので、長期間、安定的に発生を抑制できる（図1）。

#### [成果の活用面・留意点]

1. 1mm目防虫ネットはトマトハモグリバエなどの侵入防止効果も期待できる。
2. オンシツツヤコバチは効果が認められるまで1か月程度を要するので、2月以降でコナジラミ類がまだ散見され始めた時期から導入を開始する。
3. オンシツツヤコバチは殺虫剤による悪影響が大きいので、導入前～導入中の薬剤使用に注意する。
4. トマト黄化葉巻病の発生地域では、0.4mm目防虫ネットを使用する。
5. 防虫ネットの価格は、（幅1.8m×100m巻）1mm目が20,000円、0.4mmで40,000円程度である。また、オンシツツヤコバチの価格は10aあたり12,000円×3回=36,000円程度である。

[具体的データ]

表 1 オンシツコナジラミに対する 1 mm 目防虫ネットの侵入防止効果 (2003)

	粘着トラップ 10cm×20cm 片面あたり成虫数 (頭)			合計
	4/21~28	~30	~5/2	
1 mm 目防虫ネット	18	5	5	28
無処理	247	49	47	343

調査期間：2003年 4月21日～5月2日

調査方法：オンシツコナジラミが多発したトマト栽培ハウス内に黄色粘着トラップを設置し、防虫ネットで覆った。2～7日後トラップに誘殺されたコナジラミ成虫数を計数した。

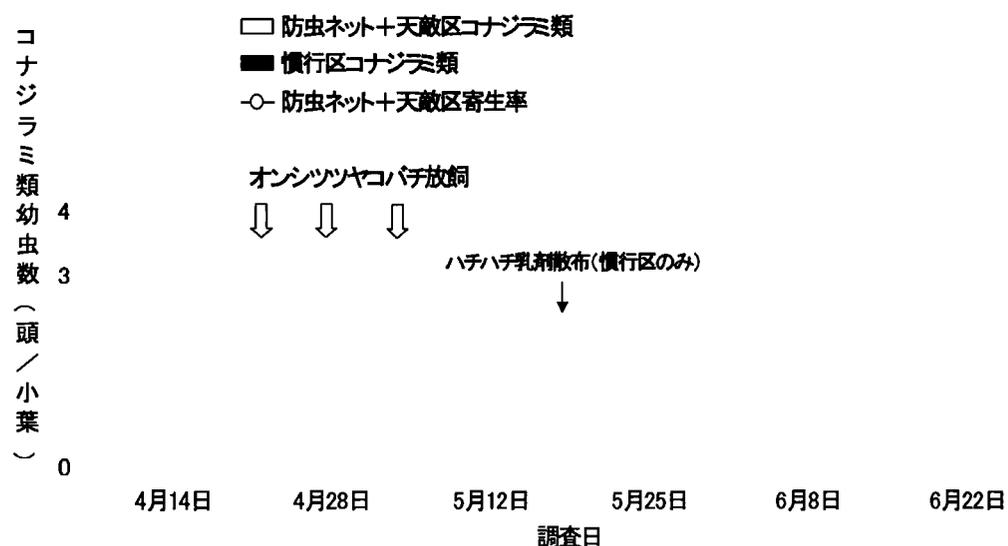


図 1 ミニトマト促成栽培での防虫ネットと天敵によるコナジラミ類の密度抑制効果 (2005)

- 1) 防虫ネット+天敵区：6. 3a、4 連棟パイプハウス、1 mm 目サンサンネット展張  
慣行区：7 a、2 連棟パイプハウス、サイドのみ 4 mm 目防風ネット展張
- 2) オンシツツヤコバチ (ツヤトップ：キョウワゲ リンクス) を 4 月 21 日、28 日、5 月 5 日に 4500 頭ずつ放飼。
- 3) 中位の 200～400 小葉に寄生するコナジラミ幼虫数及びマミー数を調査した。
- 4) コナジラミはオンシツコナジラミ、シルバーリーフコナジラミが混発していた。

[その他]

研究課題名：エコファーマー等支援技術の開発

予算区分：県単

研究期間：平成 17～20 年

研究担当者：岡本崇、井口雅裕、福嶋総子

発表論文等：